

映画

JICA無料映画上映会では、1日目に「バレンタイン一揆」、2日目には「世界の果ての通学路」を上映しました。両日ともほぼ満席で大盛況でした。映画後のトークショーではフェアトレードについてわかりやすく説明していただいたり、トークセッションではケニアの子どもたちの生きる力強さを知ることができました。



スノーキャンドル



「えっ?こんなに簡単にできるの?家でもつくってみる!」スノーキャンドルの魅力は、簡単につくれること、雪玉の間からもれる優しい光です。つくり方を説明すると、早速手を動かし自分たちが思うスノーキャンドルをつくっていました。子どもの発想は本当に豊かで、なかにはホールケーキにみたてた作品もありました。保護者の方も一生懸命手伝ってくれ、親子で楽しむことができました。

国際フェスタ

2月14日~15日にJICA北海道(帯広)と森の交流館・十勝で、楽しく学ぶ国際理解イベント「国際フェスタ in とかち 2015」が実施されました。様々なプログラムを楽しむ人たちで活気に満ちた2日間となりました。

JICA施設探検ツアー

施設探検ツアーは1日目14名、2日目18名の幼児から大人の方まで広い年齢層の方に参加していただきました。図書室を皮切りに、普段は一般の方が見学できない研修員の宿泊施設やミュージックルームを見学し、レストランまで、各場所で研修員にそれぞれの国のお国の言葉を「ありがとう」を教えることができました。



雪中みかん探し

「子どもは風の子!」この言葉がぴったりな元気いっぱいの子もたちが、吹雪にも負けず雪中みかん探しを楽しみました。「Go!Go!みかん!うんGo!」のかけ声で、雪のなかに放り込まれたみかんを探します。まるで海の中に飛び込むように探す子、両手を使って雪をかきみかんを見つけた子、探せなくて悔しがる子と様々でしたがたっぷり楽しめたようです。探せなかったみかんが気になっていたようですが、雪どけとともに姿を現す予定です。



フェアトレードブース



雨竜郡雨竜町から高見早苗さん(フェアトレード北海道副代表)、陸別町から秋庭智也さん(地域おこし協力隊)を迎え、普段直接手に取る機会の少ないフェアトレード商品を販売して頂きました。子ども連れのお客様もたくさん来て、インドのガラス職人が作ったビーズでオリジナルネックレスを作ったりして楽しんでいました。また十勝でフェアトレード商品の買えるお店などの情報も配布しました。

道東から出発の

新ボランティア紹介

平成26年度
4次隊

青年海外協力隊

ベナン服を着るのが楽しみです!
ベナン布を買って自分で作ってみたい!



真ん中でワンピースを着ているのが私です。

- 1 村人と生活を共にすることから保健・衛生に関する習慣を捉え、基本的な保健・衛生に関する啓発活動や生活改善に取り組む。
- 2 現地語(アジャ語)で人々と会話し、住民の目線を捉えたい。伝統療法と近代医療の両方を尊重した医療環境をつくるための仕掛けづくりをしたい。

青年海外協力隊

ウズベキスタンはかつてシルクロードが通っており、多くの観光名所があります。様々な土地を観光したいと思います。



郡山 彩さん

出身:帯広市
派遣国:ベナン
職種:コミュニティ開発



杉山 雄二さん

出身:幕別町
派遣国:ウズベキスタン
職種:理学療法士



- 1 ウズベキスタン国フェルガナ州中央総合病院での勤務となります。当国には理学療法士の資格がなく、リハビリテーションの概念も一般的ではありません。現地スタッフと協働し、リハビリテーションの普及活動をする予定です。
- 2 文化や言語に違いはあっても、人間関係の構築に日本と大きな違いはありません。趣味のテニスやマラソンで培った体力を武器に、現地での活動を精力的に行っていきたいと考えております。

日系社会シニアボランティア

初めての南国島国生活なので、釣り・ダイビング等他、マリンスポーツをやってみたい。



後列右が私です!

武田 順二さん

出身:帯広市
派遣国:トンガ王国
職種:野菜栽培



- 1 配属先のトンガ農水省にて、職員・民間企業・農家への農業全般の技術支援、特に輸出を目的とした野菜類(スイカ・かぼちゃ等)の栽培と販売について。
- 2 トンガの任国事情で把握した現状をもとに、日本への端境期の輸出を想定した、品質の安定と向上、規格別販売の整備を現地にに応じた手法で取り組みたい。

中小企業海外展開支援



案件化調査 東洋農機株式会社

インドには世界の3割の貧困層があるとされており、経済成長を通じた貧困削減を達成することが急務となっています。貧困層の多くは地方の農民であり、大都市との格差が大きく、特に北部のジャガイモ農家では、あぜ道の多い小規模な圃場で、小型トラクターに堀取り機を装着して掘り上げた後、手拾いで収穫しているため、歩留まりが悪い上、最近では十分な数の要員を確保できず、収穫後の稲の植え付けが計画的に行えない等の問題を抱えており、農民の所得向上が阻まれています。こうした悪循環を断ち切り、農業の生産性向上を図るため、東洋農機は、JICAの中小企業海外展開支援事業の案件化調査を通じて、自社が開発した単にジャガイモを掘り上げるだけでなく、土砂や根葉等の分離や機上で選別を行うことができる小規模な圃場でも機動性が高いジャガイモ収穫機を適用することを目指しています。



「インドに於けるジャガイモは、生食から加工原料としての用途が高まってきています。また、経済の伸張が農村地帯の人手不足の原因と言われていました。過去、日本においても安定的に且つ、高品質な原料確保が課題に成った時期から機械化が大きく進展してきました。まさにインドはその転換点にあります。東洋農機ではJICAの支援を頂き、北海道で経験してきた歴史を元に、最適な提案で課題解決に貢献したいと考えています。」(大橋常務)

新スタッフ紹介



水上 千春さん

1月よりJICA北海道(帯広)で働き始めました。水上と申します。帯広に来る前は、青年海外協力隊の一員として、中米のパナマ共和国で野菜栽培の指導をしていました。パナマから帰国後、縁あってこちらで働くことになりました。札幌出身のため雪と寒さには慣れていくつもりですが、十勝出身の友人から鼻毛も凍る寒さと聞いて、おっかなびっくりやってきました。暮らし始めてみると、雪は少ないし、昼間はさんさんと太陽が照るし、となかなか快適に過ごせています。食べることが大好きなので、早速十勝グルメのガイドブックを購入し、車でグルメめぐりに出る日を待ち遠しく思っています(今はまだ雪道運転が怖くて遠出できません...)

LIBRARY

世界のだっことおんぶの絵本 一だっこされて育つ 赤ちゃんの一日

文 エメリー・バーナード
絵 ドウルガ・バーナード
監訳 仁志田博司/園田正世
発行 メディカ出版



JICA北海道(帯広) 図書資料室
「JICAプラザ」からのご案内

世界中の赤ちゃんは、どんなふうになっこやおんぶをされているのでしょうか。グアテマラの山に住む赤ちゃん、バリ島に住む赤ちゃん、中央アフリカの熱帯雨林に住む赤ちゃん、北極の入り江に住む赤ちゃんなど、世界中の赤ちゃんのだっこやおんぶのされ方や、その地域の人々の生活風景をお伝えしています。図書資料室ではJICAの活動や国際協力だけでなく、お子様向けの図書も充実しています。どうぞお気軽にお越しください。

■開室時間:火曜日から日曜日 午後1時~午後6時30分
■閉室時間:月曜日・祝日・年末年始 ■お問合せ:TEL/FAX 0155-41-4100

出前講座

現地の生きた情報を教室で聞いてみませんか?

「現地の生きた情報を教室で聞いてみませんか?」インターネットやテレビでは収集するのが難しい情報を、開発途上国で2年間現地の人々と生活を共にして活動してきた体験談を青年海外協力隊OBがわかりやすくお話しします。(対象:学校及び団体)

施設訪問

JICAって何をやっているの? 施設内はどうなっているの?

施設訪問を随時受付けています。内容は、①JICA概要説明②途上国体験談③施設見学の①~③を1時間30分~2時間にかけて行います。詳細については、申込に至るまでの背景、要望、現状などを踏まえて検討しますので、まずはご相談ください。(対象:学校及び団体)

OBIC通信



15年も前の話ですが、青年海外協力隊で西アフリカのニジェールにて活動していました。配属先は幼稚園監督局で、幼稚園の先生を対象にセミナーや講習会を開き巡回指導を行っていました。ここで思い出深い「絵(自画像)」を紹介します。描いているのは幼稚園教諭(大人)です。普段自画像など描いたことがないので、鏡をみながら丁寧にペンを進めていたのがとても印象的でした。もちろん、眉と鼻がつながっているのも特徴的でアフリカンアートの素晴らしさを生で見る事ができたのは大きな財産になりました。(文・写真:石井優子)

JICA 海外ボランティア 春募集 体験談&説明会

募集期間 平成27年4月1日(水)~5月11日(月)

内容 ●概要説明 ●OB・OG体験談 ●個別応募相談

帯広 4/18(土)

会場 JICA北海道(帯広)

●10:00~12:00 (シニア海外ボランティア)(40才~69才)
(青年海外協力隊)(20才~39才)
(合同開催)

●帯広市西20条南6丁目1-2 tel.0155-35-1210
●JR帯広駅より拓殖バス「国際センター入口」下車 徒歩5分

釧路 4/18(土)

会場 釧路市観光国際交流センター

●16:00~18:00 (シニア海外ボランティア)(40才~69才)
(青年海外協力隊)(20才~39才)
(合同開催)

●北海道釧路市幸町3-3 tel.0154-31-1993
●JR釧路駅より徒歩5分

北見 4/19(日)

会場 オホーツク木のプラザ 研修室

●14:00~16:00 (シニア海外ボランティア)(40才~69才)
(青年海外協力隊)(20才~39才)
(合同開催)

●北見市京町1丁目3-18 tel.0157-25-1331
●JR北見駅より徒歩5分

■問い合わせ先:市民参加協力調整員 Ishii-yuko.2@jica.go.jp(石井) 0155-35-1210

What's New!

JICA北海道(帯広)発 道東インフォメーション
お問合せ TEL0155-35-1210

EVENT・SEMINAR

JICA北海道(帯広) 研修コース発表会一般公開のお知らせ

JICA北海道(帯広)では、市民の皆さんにJICA研修員受入事業を広く理解していただきたく、研修発表会を公開しています。途上国の現状を知るとともに、参加研修員が十勝・帯広で学んだ技術を帰国後どのように活かしていくのかが聞いてみませんか?発表は英語で実施されます。

◆平成27年度 春のスケジュール ◆ (定員5名・先着順)

日程	研修コース名	内容	場所	締切り
5/14(木)	「畜産物の衛生管理・品質管理」コース ※日本語資料あり	研修成果	JICA北海道(帯広)	5/12
5/21(木)	「農業情報活用のためのICT技術向上」コース ※日本語資料あり	研修成果	JICA北海道(帯広)	5/19

■お申込・お問合せ:JICA北海道(帯広) TEL 0155-35-1210 担当:鈴木 ※お申込は締切日までお願いします。(定員5名・先着順)
※研修発表会は変更になることがあります。開催日が近くなりましたらホームページでご案内をいたします。